

統合科目

保存修復学

《担当者名》 歯学部教授 / 齋藤 隆史 歯学部講師 / 泉川 昌宣 歯学部助教 / 油井 知雄

【概要】

これまでに学んだ総論、ラバーダム防湿、歯髄保護、成形修復、インレー修復、合着・接着材、仮封材・仮着材・暫間被覆冠、器械・器具等の総まとめを行い、保存修復学の知識を確実なものとする。

【学修目標】

歯科保存学と保存修復の技法を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	歯科保存学と保存修復技法の概要	歯科疾患、窩洞の具備条件、窩洞の分類、修復のための前装備、切削器具、歯髄保護法、直接修復法の種類と内容について復習・整理する。	泉川 昌宣
3 ) 4	歯科保存学と保存修復技法の概要	間接修復法の種類と内容、術後管理について復習・整理する。	油井 知雄
5 ) 6	上記の講義内容のテストと解答	上記の講義内容の知識を確実なものとする。	齋藤 隆史

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験100%

【教科書】

「最新歯科衛生士教本（歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法）」 医歯薬出版

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について確認しておく。（20分）

授業ごとに実施した内容を元に復習をする。（40分）

【実務経験】

齋藤 隆史(歯科医師) 泉川 昌宣(歯科医師) 油井 知雄(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

学理に則った教育内容と実務経験を活かすことで、教育成果が期待できる内容となっている。